



UNIQUE
USP Japan

2020年10月21日発行 10月次版
訪日市場レポート

【市況（実績・データ）】

月次実績

- ・ 9月 訪日外客数 日本政府観光局（JNTO）・訪日外客統計
- ・ 9月 地域別訪日市場の概況 日本政府観光局（JNTO）・訪日外客統計
- ・ 7・8月 都道府県別外国人宿泊者数 観光庁・宿泊旅行統計調査
- ・ 8月 百貨店売上高・来店動向 日本百貨店協会

【市況（報道発表・トピックス・ニュース）】

報道発表

- ・ 8月 主要旅行業者の旅行取扱状況速報 観光庁
- ・ 第39回観光戦略実行推進会議 首相官邸
- ・ 「上質な訪日観光サービス創出、観光戦略検討委員会」を開催 観光庁
- ・ 在留外国人を対象とした SNS 投稿促進キャンペーンを開始 JNTO

トピックス

- ・ 令和2年度 城泊・寺泊による歴史的資源の活用事業の支援地域選定 観光庁
- ・ 新型コロナウイルス関連 「インバウンド消失型」破たん 調査 東京商工リサーチ

ニュース

- ・ インバウンド再開に向けて「今できること」は？～吉田新理事長代理～ トラベルボイス
- ・ 東京五輪、観光客入国を本格検討 「発熱センター」を設置へ 時事通信
- ・ 訪日リピーター「入国規制が解除後すぐ日本へ行きたい」が約半数 朝日新聞
- ・ アメリカの旅行雑誌「コンデ・ナスト・トラベラー」で京都が世界第1位の人気都市に 時事通信

【市況（実績・データ）】 月次

9月 訪日外客数 日本政府観光局（JNTO）・訪日外客統計 —10/21・JNTO発表—

URL：https://www.jnto.go.jp/jpn/news/press_releases/pdf/201021_monthly.pdf

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 9月	2020年 9月	伸率(%)	2019年 1月～9月	2020年 1月～9月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,272,883	13,700	-99.4	24,417,820	3,973,200	-83.7
韓国	South Korea	201,252	1,400	-99.3	4,934,315	480,200	-90.3
中国	China	819,054	3,000	-99.6	7,402,578	1,028,300	-86.1
台湾	Taiwan	376,186	800	-99.8	3,736,530	691,100	-81.5
香港	Hong Kong	155,927	90	-99.9	1,660,886	345,060	-79.2
タイ	Thailand	62,057	1,000	-98.4	868,443	216,800	-75.0
シンガポール	Singapore	29,147	30	-99.9	284,644	54,850	-80.7
マレーシア	Malaysia	28,778	200	-99.3	309,491	75,100	-75.7
インドネシア	Indonesia	25,021	300	-98.8	282,269	70,300	-75.1
フィリピン	Philippines	37,758	100	-99.7	402,119	104,600	-74.0
ベトナム	Vietnam	38,325	2,700	-93.0	376,043	115,900	-69.2
インド	India	15,895	400	-97.5	135,365	23,600	-82.6
豪州	Australia	60,498	90	-99.9	449,228	142,890	-68.2
米国	U.S.A.	127,190	600	-99.5	1,277,007	215,900	-83.1
カナダ	Canada	28,525	70	-99.8	269,147	52,930	-80.3
メキシコ	Mexico	6,282	10	-99.8	51,367	9,390	-81.7
英国	United Kingdom	49,580	100	-99.8	290,419	50,200	-82.7
フランス	France	26,530	100	-99.6	252,325	41,700	-83.5
ドイツ	Germany	22,768	90	-99.6	177,104	28,860	-83.7
イタリア	Italy	13,354	70	-99.5	124,492	13,280	-89.3
ロシア	Russia	10,454	60	-99.4	83,720	20,890	-75.0
スペイン	Spain	11,472	70	-99.4	98,674	11,420	-88.4
中東地域	Middle East	8,678	200	-97.7	67,815	7,400	-89.1
その他	Others	118,152	2,220	-98.1	883,839	172,530	-80.5

出典：日本政府観光局(JNTO)

9月の訪日外客数は、13,700人（前年同月比99.4%減）となり、12か月連続で前年同月を下回ったものの、6か月ぶりに1万人を超えた。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部の国と日本の間で「ビジネストラック」や「レジデンストラック」の運用が開始されているものの、日本における検疫強化、査証の無効化等の措置が引き続き取られていること、また、欧州を中心に出国制限が解除されている国があるものの多くの国で引き続き海外渡航制限等の措置が取られている。

訪日外客数は前年同月比 マイナス**99.4%**、**12**カ月連続で前年同月を下回る

- 12か月連続で前年同月を下回るが、6か月ぶりに訪日外客数が1万人を超える
- 一部の国と日本の間で「ビジネストラック」「レジデンストラック」の運用が開始

【市況（実績・データ）】 月次

9月 地域別訪日市場概況 日本政府観光局(JNTO) 訪日外客統計 —10/21・JNTO発表—

URL : https://www.jnto.go.jp/jpn/news/press_releases/pdf/201021_monthly.pdf

国・地域	Country/Area	総数 Total		
		2019年 9月	2020年 9月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,272,883	13,700	-99.4
韓国	South Korea	201,252	1,400	-99.3
中国	China	819,054	3,000	-99.6
台湾	Taiwan	376,186	800	-99.8
香港	Hong Kong	155,927	90	-99.9
タイ	Thailand	62,057	1,000	-98.4
シンガポール	Singapore	29,147	30	-99.9
マレーシア	Malaysia	28,778	200	-99.3
インドネシア	Indonesia	25,021	300	-98.8
フィリピン	Philippines	37,758	100	-99.7
ベトナム	Vietnam	38,325	2,700	-93.0
インド	India	15,895	400	-97.5
豪州	Australia	60,498	90	-99.9
米国	U.S.A.	127,190	600	-99.5
カナダ	Canada	28,525	70	-99.8
メキシコ	Mexico	6,282	10	-99.8
英国	United Kingdom	49,580	100	-99.8
フランス	France	26,530	100	-99.6
ドイツ	Germany	22,768	90	-99.6
イタリア	Italy	13,354	70	-99.5
ロシア	Russia	10,454	60	-99.4
スペイン	Spain	11,472	70	-99.4
中東地域	Middle East	8,678	200	-97.7
その他	Others	118,152	2,220	-98.1

中国は、前年同月比99.6%減の3,000人であった。4月21日以降、中国政府外交部より海外旅行自粛の指示が出されており、観光客の渡航は実質的に不可能な状況が続いている。日本への直行便は、9月も引き続き大幅な運休・減便となっている。

韓国は、前年同月比99.3%減の1,400人であった。国際的な人の往来再開に向けた段階的措置として、10月8日から「レジデンストラック」及び「ビジネストラック」の受付を開始した。

タイは、前年同月比98.4%減の1,000人であった。日本政府による上陸拒否、検疫強化、査証の効力停止等の対象となっているが、国際的な人の往来再開に向けた段階的措置として、7月29日から「レジデンストラック」の受付を開始。

各国で人間の往来回復の為、制限緩和策「レジデンス・ビジネストラック」を開始

- タイ、ベトナムは7月末より「レジデンストラック」受入れを開始
- 台湾、シンガポール、マレーシアは9月、韓国は10月から受入れを開始している

【市況（実績・データ）】月次

7・8月 都道府県別外国人宿泊者数 観光庁・宿泊旅行統計調査 — 9/30・観光庁発表 —

URL : <https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/content/001360470.pdf>

市場別宿泊者数7月※確定値

順位	国籍（出身地）	合計		前年同月比
		（人泊）	シェア	
第1位	アメリカ	38,220	23.6%	-94.1%
第2位	フィリピン	21,530	13.3%	-70.2%
第3位	中国	14,280	8.8%	-99.6%
第4位	ベトナム	5,810	3.6%	-92.0%
第5位	インド	4,440	2.7%	-91.0%
第6位	韓国	3,900	2.4%	-99.6%
第7位	タイ	3,360	2.1%	-98.2%
第8位	インドネシア	3,290	2.0%	-96.4%
第9位	英国	3,120	1.9%	-97.4%
第10位	フランス	3,010	1.9%	-97.8%
第11位	台湾	2,670	1.6%	-99.8%
第12位	香港	2,230	1.4%	-99.7%
第13位	カナダ	2,000	1.2%	-97.7%
第14位	オーストラリア	1,930	1.2%	-98.9%
第15位	ドイツ	1,830	1.1%	-97.9%
第16位	シンガポール	1,240	0.8%	-98.9%
第17位	ロシア	840	0.5%	-97.7%
第18位	スペイン	690	0.4%	-99.3%
第19位	マレーシア	650	0.4%	-99.0%
第20位	イタリア	580	0.4%	-99.2%
	その他	43,210	26.6%	-95.0%
	合計	162,240	100.0%	-98.3%

外国人宿泊者、8月は前年比
97.6%減少

- ①（7月）都道府県別で
97%マイナス。
- ②（7月）市場別では、1位
アメリカ、2位フィリピン。

延べ宿泊者

（万人泊）

	全体	日本人	外国人
R2.7	2,158	2,135	23
（前年同月比）	-58.3%	-47.9%	-97.9%
R2.8（※）	2,628	2,605	23
（前年同月比）	-58.4%	-51.5%	-97.6%

※令和2年8月の数値は第1次速報値であり、令和2年10月30日公表予定の第2次速報値で変更となる点にご留意いただきたい。

都道府県別外国人宿泊者数（7月）※確定値

（単位：人泊）

施設所在地	延べ宿泊者数	前年同月比			
全国	225,890	-97.9%	愛知県	6,670	-98.0%
北海道	5,860	-99.3%	三重県	8,680	-79.1%
青森県	790	-97.2%	滋賀県	670	-98.0%
岩手県	780	-96.3%	京都府	10,350	-99.0%
宮城県	2,080	-95.3%	大阪府	39,910	-97.7%
秋田県	460	-95.2%	兵庫県	3,550	-97.2%
山形県	380	-96.8%	奈良県	390	-99.3%
福島県	2,300	-82.7%	和歌山県	990	-98.4%
茨城県	1,200	-93.8%	鳥取県	820	-95.6%
栃木県	1,600	-92.5%	島根県	570	-93.2%
群馬県	580	-96.5%	岡山県	880	-98.0%
埼玉県	790	-96.5%	広島県	3,610	-97.2%
千葉県	34,720	-93.5%	山口県	620	-92.5%
東京都	32,840	-98.8%	徳島県	410	-95.7%
神奈川県	17,730	-94.1%	香川県	1,010	-98.6%
新潟県	1,230	-96.0%	愛媛県	2,160	-88.1%
富山県	1,030	-96.5%	高知県	460	-94.2%
石川県	1,630	-98.1%	福岡県	3,410	-99.1%
福井県	630	-90.2%	佐賀県	200	-99.4%
山梨県	910	-99.5%	長崎県	5,370	-91.7%
長野県	1,670	-98.1%	熊本県	1,810	-97.6%
岐阜県	480	-99.6%	大分県	1,680	-98.1%
静岡県	4,850	-98.2%	宮崎県	710	-96.9%
			鹿児島県	1,450	-97.7%
			沖縄県	14,920	-98.3%

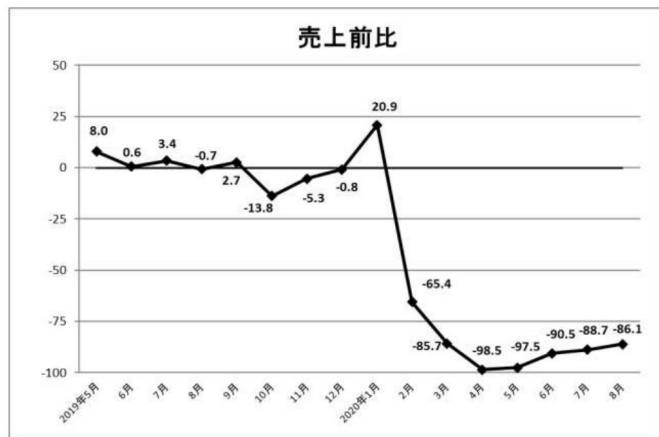
【市況（実績・データ）】 月次

8月 全国百貨店売上高・来店動向

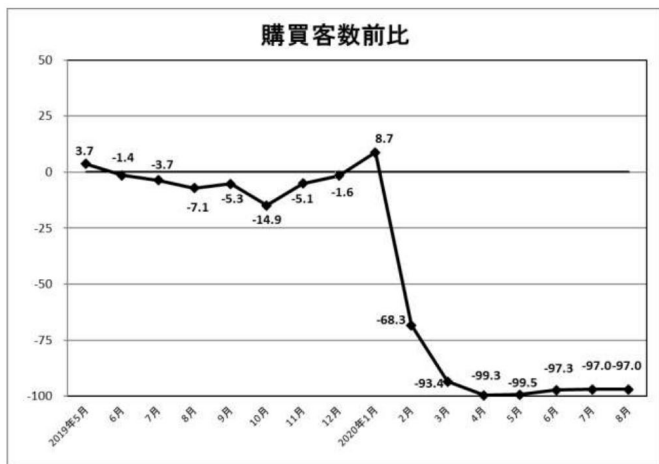
— 9/24・日本百貨店協会発表 —

URL : https://www.depart.or.jp/press_release_other/cat/

免税売上前年比 (%)



購買客数前年比 (%)



	実額【実数(※)】	前年同月比
① 免税総売上高	約35億5千万円	-86.1%
② 一般物品売上高	約18億9千万円	-86.4%
③ 消耗品売上高(化粧品、食品等)	約16億6千万円	-85.8%
④ 購買客数	約1万1千人(※)	-97.0%
⑤ 一人あたりの購買単価	約311,000円	362.2%

8月は在留外国人の再入国が条件付きで緩和されたものの、いまだ渡航制限が継続していることから、免税売上高は約35.5億円（前年比86.1%減）、購買客数は約1.1万人（同97.0%減）と減少傾向が続いており、ともに7か月連続でマイナスとなった。

購買単価は、高額品の大口購買等があったことから、約311,000円（同362.2%増）となった。

売上が多少回復したものの、売上高・購買客数ともに7か月連続でマイナス

- ①人気のあった商品は、1位：化粧品、2位：ハイエンドブランド、3位：婦人服飾雑貨
- ②免税手続きの国別は、1位：中国本土、2位：台湾、3位：マレーシア

【市況】 報道発表

主要旅行業者の旅行取扱状況速報（令和2年8月分）

— 10/16・観光庁 —

URL <https://www.mlit.go.jp/common/001368278.pdf>

1. 総取扱額

区 分	取扱額（千円）	前年同月取扱額（千円）	前年同月比（％）
海外旅行	3,564,726	204,999,066	1.7
外国人旅行（※）	717,793	17,766,923	4.0
国内旅行	62,732,864	265,110,156	23.7
合 計	67,015,383	487,876,145	13.7

※日本の旅行会社によるインバウンド向けの旅行取扱いを指します。

新型コロナウイルスの感染拡大による旅行の延期や中止の影響等により、総取扱額は海外旅行、外国人旅行、国内旅行各部門で前年同月と比べ大幅に減少した。

なお、国内旅行については、Go To キャンペーンの効果もあり、前月(7月分)より一定程度の回復傾向が見られる。

2. 旅行商品ブランド（募集型企画旅行）の取扱状況

区 分	取 扱 額			取 扱 人 数		
	取扱額 （千円）	前年同月 取扱額 （千円）	前年 同月比 （％）	取扱人数 （人）	前年同月 取扱人数 （人）	前年 同月比 （％）
海外旅行	4,309	23,580,531	0.0	4	159,686	0.0
外国人旅行	0	332,228	0.0	0	36,117	0.0
国内旅行	22,703,305	117,313,694	19.4	710,209	3,492,700	20.3
合 計	22,707,614	141,226,453	16.1	710,213	3,688,503	19.3

【海外旅行】

総取扱額は対前年同月比 1.7%

【外国人旅行】

総取扱額は対前年同月比 4.0%

【国内旅行】

総取扱額は対前年同月比 23.7%

Go To キャンペーンの効果があり前月よりも、国内旅行は一定の回復が見られた

① 【海外旅行】 総取扱額は対前年同月比 1.7%

② 【外国人旅行】 総取扱額は対前年同月比 4.0%

③ 【国内旅行】 総取扱額は対前年同月比 23.7%

URL https://www.kantei.go.jp/jp/99_suga/actions/202009/29kanko.html



9月29日、菅総理は観光戦略実行推進会議に出席し次のように述べた。

「我が国において地域を支えているのが、観光業界の皆さんだというふうに思っております。ホテル、旅館のほかに、バス、タクシー、食材、お土産屋さん、こうした中で、約900万人の方々の方が働いておられます。7月からGoToキャンペーンを通じて、まずはこうした方々に現状を乗り切っていただきたい。そういう思いで支援を行っております。先ほどからお話がありますように、8月まで延べ1,300万人以上の方々に御宿泊いただいて、これまでに感染が判明したのは十数人にとどまっております。引き続き、感染対策をしっかり講じた上で御利用いただきたいというふうに思います。

本日はホテル・旅館の現場で、施設のリノベーションなどに取り組み、GoToキャンペーンも活用することで、国内観光客を取り戻しつつある経営者の皆さんから貴重なお話を伺いました。本日お話を頂きましたように、今後、更なる回復に向けて、個人旅行やインバウンド向きの施設への改修、事業承継の支援、更には外国語の看板や案内、ワーケーションを始めとした旅行市場の拡大などを含めた幅広い対策が必要だというふうに思っています。

感染対策を講じながら、当面、観光需要を回復させるために必要となる政策プランを、観光庁を中心に、年末までに策定していただきたいと思います。また観光は観光庁だけでなく、文化施設、国立公園を含め多くの役所に関係する政策であり、その復活のためには、それぞれの省庁が知恵を絞る必要があります。縦割りを打破して、前例にとらわれず、政府一体となって取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。」

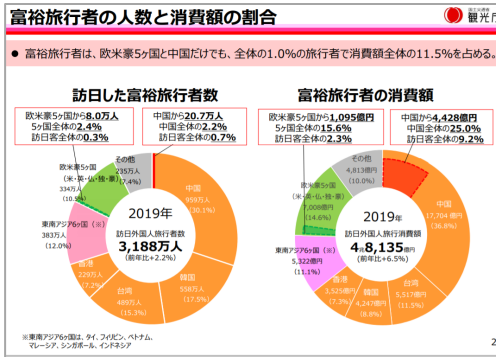


【市況】 報道発表

「上質なインバウンド観光サービス創出に向けた観光戦略検討委員会」を開催

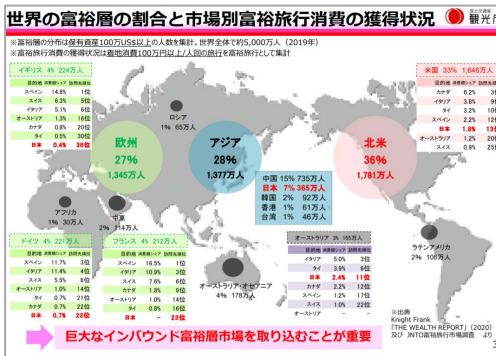
— 9/30・観光庁 —

URL https://www.mlit.go.jp/kankocho/news05_000298.html



新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日外国人旅行者は大幅に減少しており、観光産業は深刻なダメージを受けている。

一方、観光はここ数年で著しい成長を遂げてきており、ポストコロナ時代においてもインバウンドには大きな可能性があることから、観光先進国の実現に取り組む上で、これまで取込めていない富裕層などの上質な観光サービスを求め、これに相応の対価を支払う旅行者の訪日、滞在の促進を今のうちから図ることが重要。



本委員会では、訪日外国人旅行者の長期滞在と消費拡大を目指し、富裕層などの上質な観光サービスを求める方に対応した施設整備やコンテンツづくり等を進めるための検討を行う。

本委員会は、本年度中に5回程度開催することとし、有識者や関係省庁との情報共有・意見交換を行う。

本委員会の最終回では、議論を踏まえた今後の取組についてとりまとめる。

観光庁ではインバウンド富裕層向けの委員会を設置、同誘致の検討を開始

- ① 委員会では、訪日外国人旅行者の長期滞在と消費拡大を目指す。
- ② 本年度中に5回程度開催し、有識者の意見交換後に取組みについてとりまとめる。

【市況】 報道発表

在留外国人を対象とした SNS 投稿促進キャンペーンを開始

— 10/12・JNTO—

URL https://www.jnto.go.jp/jpn/news/press_releases/pdf/20201012.pdf



日本政府観光局（JNTO）では、主として日本に在留する外国人の方々を対象に、日本の魅力を伝える写真や動画の SNS 投稿を促進するキャンペーンを、10月19日（月）より実施する事を発表。

日本に在留する外国人や日本での長期滞在経験のある外国人の方々が、自身の体験をもとに SNS 等で発信した「母国に住む自分の家族や友人に教えたい」、「いつか一緒に行きたい」日本の観光地やお気に入りの場所の投稿を募集し表彰することを通じて、それぞれのネットワークを活用した情報発信を強化する取り組みです。

コロナ禍において、各国に向けた積極的な誘客プロモーションを慎重に進めざるを得ない状況の中、実際に日本に住んでいる外国人自身による発信は、将来の訪日意欲喚起のために重要な情報源となります。

日本政府観光局が在日外国人のネットワークを活用した情報発信を強化

【募集期間】 10月19日(月)～12月6日(日)

【募集対象者】 日本在住の外国人の方（英語、簡体字・繁体字、韓国語）

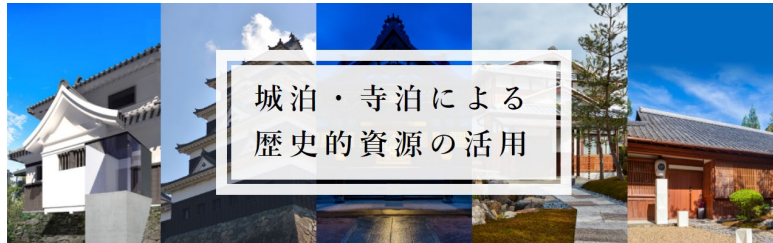
【応募方法】 SNS上でハッシュタグを付け投稿(詳細は報道発表を確認)。


【市況】トピックス

令和2年度 城泊・寺泊による歴史的資源の活用事業の支援地域選定

— 9/24・観光庁 —

URL https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics05_000316.html



城泊・寺泊による歴史的資源の活用事業（城泊・寺泊専門家派遣）支援地域一覧 

城泊			寺泊		
応募団体名	対象物件	地域	応募団体名	対象物件	地域
白河市（産業部観光課）	小峰城	福島県白河市	興隆宗賢福山寶林寺	寶林寺	群馬県邑楽郡千代田町
岸和田市魅力創造部観光課	岸和田城	大阪府岸和田市	（一社）加賀市観光交流機構	大聖寺（実性院）	石川県加賀市
福山市	福山城	広島県福山市	宗教法人圓立寺	圓立寺	福井県大野市
（一社）松江観光協会	松江城	島根県松江市	宗教法人法源寺	法源寺	山梨県南アルプス市
（一財）丸亀市観光協会	丸亀城	香川県丸亀市	武井坊	武井坊	山梨県南巨摩郡身延町
臼杵のんき屋	臼杵城	大分県臼杵市	大本山方広寺	方広寺	静岡県浜松市
BIOSOPHY ARCHIVES 七部会議	綾城	宮崎県東諸県郡綾町	妙泉寺	妙泉寺	静岡県富士宮市
			浄土真宗本願寺派 寛成寺	寛成寺	岐阜県安八郡安八町
			株式会社KOMINKA企画	法蓮山光明寺	滋賀県長浜市
			大泉寺・跡地ing	大泉寺	京都府京都市上京区
			株式会社ティ・エ・エス	立本寺	京都府京都市上京区
			宗教法人正願寺	正願寺	京都府綾部市
			宗教法人海蔵寺	海蔵寺	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
			宗教法人楞嚴寺	楞嚴寺	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町

本事業は訪日外国人旅行者の長期滞在や旅行消費額の増加等を目指し、全国各地に点在する城や社寺を、日本ならではの文化が体験できる宿泊施設（城泊・寺泊）として活用するに当たって地域が直面する課題を解決する初動支援を指す。

城泊・寺泊とは、城や寺院・神社を使った宿泊体験。

ヨーロッパでは、貴族の館や古城、修道院を宿泊施設として活用する事例があり、近年日本でも城や寺院・神社を宿泊施設として活用するケースが生まれてきている。

政府では、城や寺院・神社を活用した訪日外国人旅行者・富裕層向け宿泊体験コンテンツの推進に取り組んでおり、取り組み地域の掘り起こしや各種支援を進めている。

応募の中から選定した支援地域を公表、専門家によるオンラインでの支援および現地視察を随時実施する。

城泊・寺泊による歴史的資源の活用事業の支援地域の選定・公表

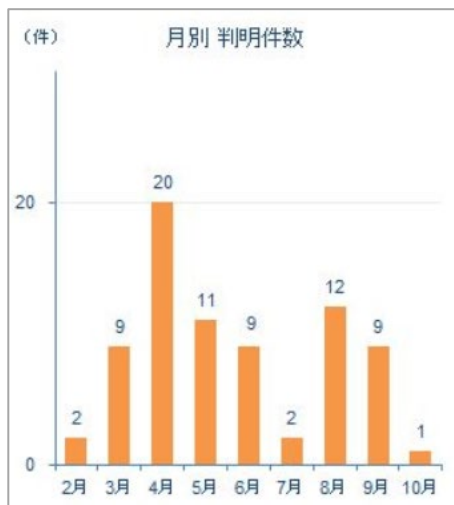
- ① 城泊・寺泊とは城や寺院・神社を使った宿泊体験を指し、近年人気の旅スタイル。
- ② 政府は、訪日外国人・富裕層の宿泊体験コンテンツの推進の一つとして支援。

【市況】トピックス

新型コロナウイルス関連 「インバウンド消失型」破たん 調査

— 10/13・観光庁 —

URL https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20201013_03.html



2020年2月から10月12日までに「新型コロナウイルス」関連破たん（負債1,000万円以上）は、581件発生している。

このうち、インバウンド需要の消失を主な原因とする破たんは75件（構成比12.9%）あることがわかった。

業種別では、外国人旅行者を多く受け入れていたホテル、旅館などの宿泊業が26件（34.6%）と3割を超え、最多だった。

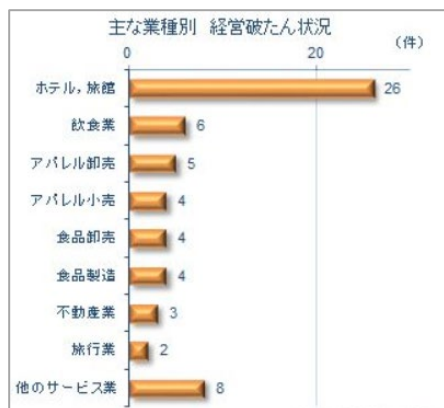
次いで、飲食業（6件、構成比8.0%）、外出自粛や百貨店不振が影響したアパレル卸（5件、同6.6%）などが続く。

地区別は、関東21件、近畿19件、中部11件の3大都市圏が51件（構成比68.0%）と突出した。

都道府県別では、東京都（17件）と大阪府（10件）が目立ち、北海道（5件）など観光地での発生も目立った。

入国制限措置の緩和など海外からの観光客受け入れ再開の議論も浮上している。

来年7月には1年延期された東京五輪開催も控え、消失したインバウンド需要をどこまで回復できるか注目される。



インバウンド消失による破たんは75件

- ① 宿泊業、飲食業、アパレル卸業の順で続く。
- ② 3大都市圏が突出して多く、全体の68%を占めた。

【市況】 ニュース

インバウンド再開に向けて「今できること」は？ ～日本政府観光局 吉田新理事長代理～

— 9/18・トラベルボイス—

URL <https://www.travelvoice.jp/20200918-147064>

日本の魅力と、日本のチカラに。

JNTO 日本政府観光局



【インバウンドは必ず元の水準以上に回復する】

吉田氏は2001年9月11日の米同時多発テロを現場で経験した。

「テロ直後は多くのアメリカ人が航空機に乗らなくなった。その後、航空テロ対策が定着し、それが新しい日常として受け入れられて、テロ以前の水準に戻っている」と話し、感染症も同じことで、「インバウンドは必ず元の水準以上に戻ると確信している」と力を込める。

【地域でサステイナブルなエコシステムの構築を】

また吉田氏は「地域に雇用と収益をもたらす事業として回していく仕組みを作らないと、人を呼び込んでも持続可能な観光は成り立たない。」として以下の重要性を語った。

1点目は、地域ぐるみでのオーバーツーリズム対策。

2点目は、マーケティングの力。売れるもの、求められるものをリサーチし、開発し、製品化し、販売するというマーケティングが観光業に欠けていると指摘する。

地域外の事例に耳を傾けながら、地域が潤う高価値のプロダクトを開発することが「今できることをやる」ことの一つだとしている。

日本政府観光局 新理事長代理 インバウンド再開に向けての考え方

- ① 感染症対策が日常として定着して、インバウンドは元の水準以上に戻ると確信。
- ② 地域での「オーバーツーリズム対策」と「マーケティングの力」に着目。

【市況】 ニュース

東京五輪、観光客入国を本格検討 「発熱センター」を設置へ

— 10/4・時事通信—

URL <https://www.jiji.com/jc/article?k=2020100300391&g=pol>



政府は、延期された東京五輪・パラリンピックに合わせ、外国人観光客の入国解禁に向け、本格的な検討に入った。

新型コロナウイルス対策として、専用の「発熱センター」設置や、スマートフォンのアプリによる健康管理の徹底などが柱で、早ければ来春から試行する。

まず外国人観光客に対し、各国の日本領事館などでのビザ取得時に、健康管理アプリのダウンロードを求める。

さらに、出国前の検査で陰性証明を取得することや、入国後の感染に備えて民間医療保険に加入することを義務付ける。

その上で、入国時の検査で陰性が確認できれば、国内での五輪観戦などを認める。

入国後14日間はアプリを通じて健康状態の報告を求めるが、ホテルなどでの待機は免除する方向だ。

入国した外国人観光客の健康管理は、国が「発熱健康相談サポートセンター（仮称）」を設置して対応する案が有力。

政府は来年1月には対応策をまとめ、同4月から試行的に外国人観光客の受け入れを再開する方針で、五輪終了後もこの仕組みを残し、インバウンド回復につなげる考え。

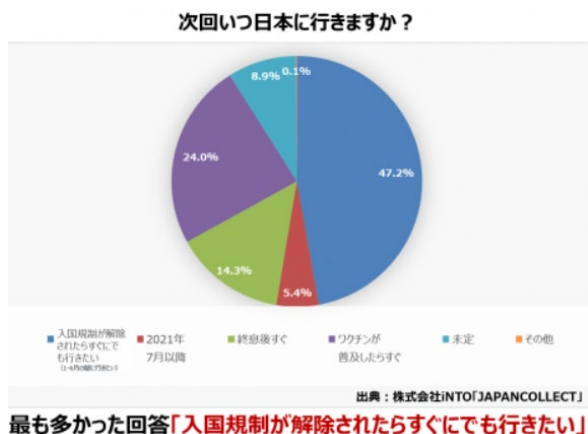
政府がオリパラに合わせた外国人観光客の入国解禁に向け本格的な検討開始

- ① 出国前に「健康管理アプリのダウンロード」や「陰性証明取得」を義務付け。
- ② 入国後の健康管理は、国が「発熱健康相談サポートセンター」を設置（案）。

【市況】 ニュース

訪日リピーター「入国規制が解除後すぐ日本へ行きたい」が約半数 — 9/30・朝日新聞—

URL https://www.asahi.com/and_M/pressrelease/pre_17845678/



株式会社iNTOは、訪日リピーターのオンラインコミュニティ「JAPANCOLLECT」で今後の訪日意向を調査した。（期間：9月28日～10月5日 有効回答件数：5,776件）

最も多かったのは「入国規制が解除されたらすぐにでも日本に行きたい」、との回答で約5割（47%）であった。

また、台湾・香港の訪日リピーターに対して行ったインタビュー結果も発表し、入国規制解除後には訪日旅行客が集中すると予想されるため、しばらくたってから訪問を考えるとといった冷静な意見があったことや、訪日リピーターの多くが日本の衛生環境には心配をしていない一方、マスクや手洗いなどの対策は継続し、宿泊先も多少高くてもきれいなところに泊まりたいとの回答も紹介した。

訪日リピーターの訪日意欲は衰えておらず、最初に日本に戻るのは台湾や香港など東アジアのリピーターであり、数年は戻らないと言われているインバウンドも、東アジアではもっと早く戻るため、いま観光コンテンツの磨き上げと受入環境整備を進めておくべきであるとした。

訪日リピーターの訪日意欲は衰えず、いま受入環境整備を進めておくべき

- ① 入国規制が解除されたらすぐにでも日本に行きたい」は約5割（47%）。
- ② 一部、解除直後の混雑を回避するといった冷静な意見もあり。

【市況】 ニュース

アメリカの旅行雑誌「コンデ・ナスト・トラベラー」で京都が世界第1位の人気都市に

— 10/7・時事通信 —

URL <https://www.jiji.com/jc/article?k=000000026.000059523&g=prt>

順位	都市名
1	京都（日本）(2)
2	リヨン（フランス）(-)
3	シンガポール（シンガポール）(3)
4	シドニー（オーストラリア）(10)
5	ウィーン（オーストリア）(4)
6	東京（日本）(1)
7	ポルト（ポルトガル）(-)
8	ヘルシンキ（フィンランド）(-)
9	コペンハーゲン（デンマーク）(6)
10	リスボン（ポルトガル）(-)

アメリカで最も権威のある旅行雑誌の一つ「コンデ・ナスト・トラベラー」誌が毎年秋に発表する読者投票ランキング

「Readers' Choice Awards」内の、世界で最も魅力的な都市を決める「Best Big Cities in the World」において、京都が初めて世界第1位に選ばれた。

京都市は、これまで、アジア都市部門において、2011年、2013年に第1位に選ばれていたが、2015年に初めて世界のトップ10入りをし、今回、初の栄冠に輝いた。

【評価コメント】

「10世紀に建立された寺院や芸舞妓を身近に感じられる古都において、京都はいまだに古いものが多く残っている一方、大きな変化をもたらした2011年の大震災を経て、新しく生まれ変わっている。「多くの芸術家が新しい活力とともに京都に移り住んだ。」とKYOTOGRAPHIE 京都国際写真展の共同創設者であるルシール・レイボーズ氏は語っている。町家が並ぶ通りは工芸品や個性的な店が軒を連ねる。また、日本酒とともにジンの人気が高まり、100近いミシュランの星をもつレストランがある。ミシュランに格付けされていないが、伝統的な味を楽しめ、200年の歴史を持つ料理旅館「近又」を訪れてみるべきである。」